

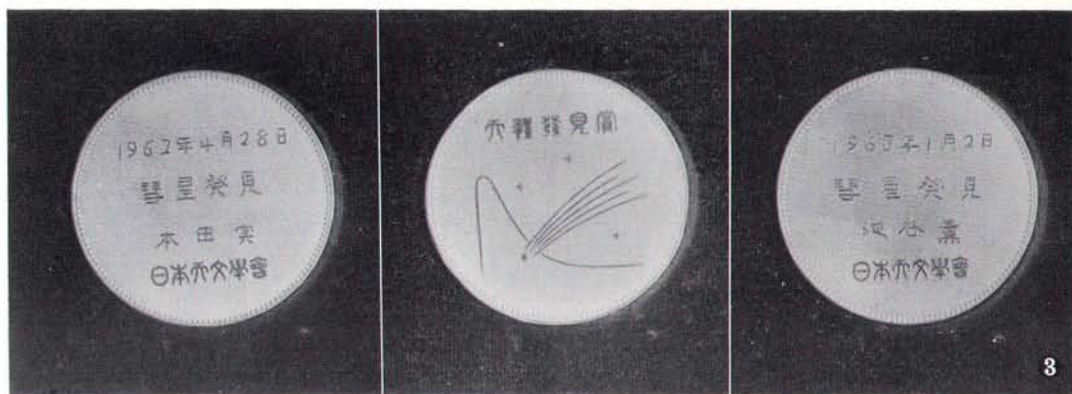


◇ **日本天文学会春季年会記念撮影** 本会の春季年会は5月16日より18日まで3日間、東京本郷の東京大学の医学部総合中央館で開催された。写真は第1日正午会場玄関前での記念撮影

◇ **天体発見賞の授賞** 5月17日本会の春季年会の総会に引きつづき、本田実、池谷薫両氏へ天体発見賞の授賞が行なわれた。

2は藤田理事長より賞牌、表彰状と金一封をうける本田実氏、なお池谷薫氏はおりあしく東海道線の故障のため延着され、式には間に合わなかった。





3 は両氏に贈られた賞牌のうらとおもて、なお表彰状は別に掲げたが、ほかに日本光学工業KKより両氏に副賞としてニコレックスカメラが贈られた。4 は18日に東京天文台を訪問された本田実(右)、池谷薫(中)両氏と広瀬台長。



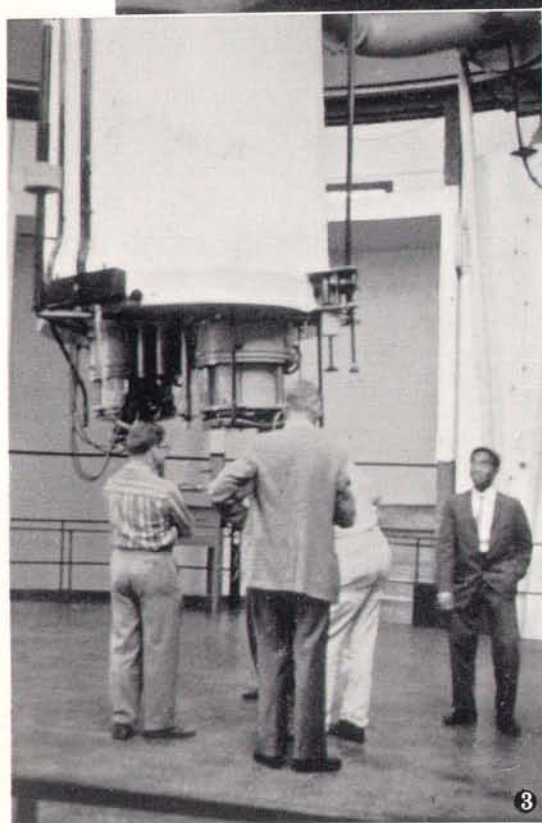
◇ バンドン・シンポジウム さる3月31~4月2日インドネシアのバンドンで開催されたシンポジウムに出席された東京天文台の大沢清輝氏のフィルムの一部で、1はシンポジウム会場での中央はアラール、左はアンバルツミアン。



3

4

1



2 はレンバンにあるボッシュ天文台の複式屈折望遠鏡のドーム。この天文台の構内は美しく整頓された庭にかこまれているが、折角のカラー写真を白黒でしかお伝えできないのは残念である。

3 は 60 cm 屈折の接眼部付近で、左よりシュタインリン、サッカレー、アラール、ブルボシスウォヨの諸氏。

4 は新設の 20-28 インチシュミットカメラ。この天文台の望遠鏡はすべてウィルソン山の 100 インチと同様のヨーク式架台で、土地が赤道に近いために極軸はほとんど水平である。